

笑い声や歌声が聞こえる

校 長 武井 正明

2学期が始まって早3週目に突入している。外は雨だ。ちょっと教室を覗いてみるか。すると廊下からなんとも和やかな笑い声が聞こえてくる。楽しそうだな…。

2年4組では藤井先生が社会科の授業をしていた。期待の新人、土屋先生が参観している。私が来て藤井先生の視線が泳いだ。土屋先生も「校長先生がいらっしゃるのにはちょうどピッタリです!!」「そうなんだ…」何がピッタリなのだろう？生徒達もニヤニヤしている。でもこの雰囲気、悪くはない…。まあ皆さん、よくわからないがどうかひとつ頑張ってくれ。



音楽室からは、女子の透き通ったいい声が洩れ出てくる。これは…私の好きな「僕らはいきものだから」だ。この曲を3年1組がやるのか。今年は真和祭と音楽祭が10月に集中しているからなかなか準備が大変だ。

つつい教室に引き込まれると、指揮者の彼も明道先生の指導の下、真剣な表情で練習に取り組んでいる。ピアノの滑らかな伴奏に女子の歌声が乗っかる。

集会室では男子パート。早速歌ってくれた。上手いね。もう音程はかなり取れているようだ。あとは声量とハーモニー。合わせたところを聴くのが楽しみだ。どんな合唱になるのかな。



理科室に行くと、なんともアットホームな温かい空気が伝わってくる。



若葉学級、増田先生の理科だ。慎重に粉末を分量通りに取り出す作業を進めていたところ。彼女の近くでその様子を仲間のふたりが見守っている。

そして、見事きっちり分量を合わせることができた。これには思わず傍にいた長澤介助員も拍手！できた彼女も思わず笑顔がこぼれた。

なんてことはない。ごくありふれた吉中の日常生活の一コマ。

行事に振り回されがちな2学期だけれど、普段の授業でのこういう雰囲気が最も大事。皆が和やかに頑張っているのが、なにより嬉しい。

教師にとって子どもたちの笑顔は、やっぱり最大の癒しなのです。